

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	みかんの木
住 所	大分県別府市北浜2-9-1 トキハ別府店4F
電話番号	0977-76-5679

事業所番号	4410202206
管理者名	丹生 江里子
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		55 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		5 点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5 点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	165 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（7年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	8,419.5	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,689	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4.98	時間

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）					
前々々年度（5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	730,530	円	利用者に支払った賃金総額	717,528	円
			収支	13,002	円
前々年度（6年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	9,665,992	円	利用者に支払った賃金総額	9,656,906	円
			収支	9,086	円
前年度（7年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	8,292,426	円	利用者に支払った賃金総額	8,277,449	円
			収支	14,977	円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	②利用者を職員として登用する制度 ◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>	⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input type="checkbox"/>	⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input type="checkbox"/>	

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/> ◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> ※研修名 令和7年度精神保健福祉基礎研修会 研修講師 大分県こころからの相談支援センター 実施日・受講者数 7月22日 1人	②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input checked="" type="checkbox"/> ※研修、学会等名 別府市A型事例報告会 実施日 令和8年2月19日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ A型からの就労における取組	③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/> ※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 就労支援事業所 ANCHOR 実施日/参加者数 1月22日 4人
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> ※商談会等名 ビジスマッチング商談会 主催者名 大分県 日時 12月3日 内容 民間企業の抱える人手不足と福祉事業所が提供できるサービスのマッチングを目指した交流会	⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/> ◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/> 人事評価制度の制定日 R5年11月1日 人事評価制度の対象職員数 6名 うち昇給・昇格を行った者 6名 当該人事評価制度の周知方法 文書により周知（新規採用時は入社日の面談時に説明）	⑥ピアサポーターの配置 ◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/> ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input type="checkbox"/> ※配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/> ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/> ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	みかんの木	事業所番号	4410202206
住 所	大分県別府市北浜2-9-1 トキ八別府店4F	管理者名	丹生 江里子
電話番号	0977-76-5679	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所： トキ八別府店</p> <p>実施日程： 令和7年4月～継続中 (月1回の対面販売イベントを含む)</p> <p>実施した生産活動： 販売・接客業務、販促物制作、流通・管理業務</p> <p>利用者数等： 延べ28名</p>	<p><成果></p> <p>地元カボス農家の規格外農産物を原料として製造された香ぼす胡椒の販売支援を行い、農産物の有効活用と地域農業の維持につながる取組となっている。また、販路確保に課題を抱えていた合同会社由布のしいたけが製造する香ぼす胡椒について、みかんの木が販売支援を行い、百貨店での常設販売ルートを確立した。</p> <p>定期的な対面販売を通じて売場づくりや商品説明などの販促活動を行うことで、地域産品の認知向上と販売促進につながっている。</p> <p>本取組により、規格外農産物の有効活用と地域農産物の販路拡大を図るとともに、地元加工事業者の販売支援を実現する地域連携の取組として継続している。</p>
--	--

<目的>

- ・地域農業の活性化を目的とした、農業生産者が抱える加工品販路確保支援および販売活動。
- ・規格外農産物を原材料とする加工品について、安定した販路を確保し、地域農業および加工事業の持続性向上に寄与すること。
- ・百貨店での販売支援を通じて、地域産品の付加価値向上と地域内経済循環を促進すること。

地域連携活動のねらい：

- ・販路に課題を抱える地域の加工事業者と連携し、地域農業の課題解決につながる販売支援モデルを構築する。
- ・継続的な販売機会の提供により、地域産品の認知向上を図る。

地域にとってのメリット：

- ・規格外農産物の有効活用による、廃棄ロス低減と地域資源の有効活用。
- ・百貨店での常設販売を通じた、地域特産品の認知度向上と地域ブランドの維持・発信。

利用者にとってのメリット：

- ・接客、商品説明、売場づくり、在庫管理等を通じ、実務に即した就労スキル（対人対応、段取り、報告・連絡・相談）の習得。
- ・地域産品の販売支援に関わることで、地域に貢献している実感や就労意欲の向上。

<課題点>

- ・季節要因等による需要変動があるため、年間を通じた安定的な販売計画（商品構成・販促時期等）の検討が必要である。
- ・商品説明内容の整理・標準化を進め、販売品質の均一化を図る必要がある。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

意見または評価： 一生懸命作った商品が売れ残ってしまうのは辛いことでしたが、みかんの木さんが販売支援を行い、トキ八別府店という一等地の販売拠点で丁寧に販売して下さることで、販路の確保につながり非常に感謝しています。

今後の課題： 次年度は、収穫時期に合わせた共同プロモーションや、新しい食べ方の提案（レシピ作成）など、より踏み込んだ連携を目指したい。

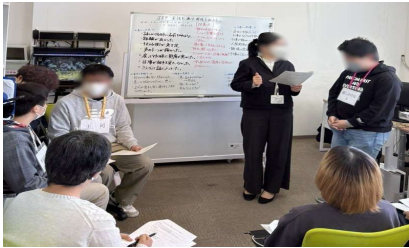


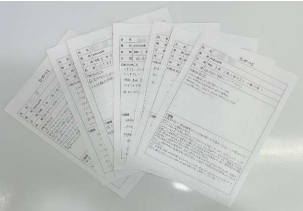
連携先企業名	合同会社 由布のしいたけ	担当者名	大土様
--------	--------------	------	-----

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	株式会社ハートフル みかんの木
住 所	別府市北浜2-9-1 トキハ別府店4階
電話番号	0977-76-5679

事業所番号	4410202206
管理者名	丹生江里子
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>◇活動場所：みかんの木 ◇実施日程：2/6 ◇実施した利用者の知識、能力向上に係る実施の概要： 就職後のイメージや普段の報告の参考材料としてもらう ◇参加利用者数：15名[A型:8名、移行型(見学):7名]</p> <p><目的></p> <p>◇利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい： ロールプレイを交えて行う事で報告のタイミングや言い回しの理解を高め、今後の参考にさせていただく。 ◇利用者にとってのメリット ・コミュニケーション悩んでいる方も声の掛け方の参考材料として学ぶ。 ・就職後に必要なスキルについて学べる。 ・ビジネスマナー ・就職活動に対する意識を高める。</p> <p><成果></p> <p>◇実施した結果：JSTを知るきっかけや報告のタイミング、相手に与える印象などを知れるいい機会となった。 ◇得られた結果：ロールプレイに参加することで、コミュニケーションの取り方や相手への配慮、自分が現段階でどこまで出来るのかのイメージと実際に出来る事、相手に与える印象が明確となった。 ◇問題点：来客に対しての対応、挨拶、話聞く姿勢、質疑応答の仕方を再度見直し、ビジネスマナーとして社会性を身に付け、今後再度しっかり利用者一人一人が学習していくべきだと感じた。</p>	<p><活動の様子></p> <p>◇活動の様子と写真</p> <p>・職業センター指導のもと、ロールプレイを用い、声をかけるタイミングやパーソナルスペースなど、コミュニケーションの講義を行った。</p>    <p>◇成果物や利用者からの意見、評価</p>  <p>・ロールプレイを通すことで一人一人が、職場でなぜそのスキルが求められるのか、自身がどの程度できるのかを振り返りながら、講義を行え、さまざまな前向きな感想や意見がうかがえた。</p>
--	--

連携先企業や事業所などの意見または評価

<p>みかんの木をご利用の方々の中には、コミュニケーション面で課題を感じていらっしゃる方もいると伺い、今回は当センターの職業準備支援で実施している職場技能トレーニング(JST)の中から、「会話を遮り、用件を伝える」をテーマに講座を行いました。利用者の皆さまには積極的にご参加いただき、職場を想定したロールプレイへの取り組みや、お互いのロールプレイの様子に対して意見を述べるなど、意欲的に参加していただきました。今回の講義を通して、声をかける際の言葉選びやタイミングの重要性について、実感していただけたのではないかと感じています。学んだ内容を繰り返し練習し、徐々に身につけられるよう願っています。また、みかんの木の職員の皆さまには講座の進行をご体験いただき、支援の方法や講義の流れ、支援のポイントについて理解を深めていただけたことと思います。今回の講義が今後の支援に少しでもお役に立てば幸いです。</p>	
連携先企業（担当者）	大分障害者職業センター 三宅様

利用者からの意見・評価

<p>・JST(職場における対人技能トレーニング)というものを初めて知った。 ・日常生活で指導されたパーソナルスペースの大切さが改めて分かった。 ・クッション言葉の種類や電話対応の時はどうすればいいのかが知れて良かった。 ・結論から伝える事や手短かに伝えることをこれから意識していきたい。 ・会話を遮って話しかけることに抵抗があったが、会話を遮ること自体が問題ではなく、伝え方や態度が大切だということが分かった。 ・実際にロールプレイをしてみて言葉だけでなく、目線や表情、声の大きさも意識する必要があると分かった。</p>
--